

varY-terior

挙動するもの 変化するもの

ゆれて、しずむ、ういて、ころがる
ものが動くという変化は人々の目を奪い
ぼくたちを高揚させる
ものは、力を受けることで状態をかえる
状態がかれば、きっと使い方もかわるだろう
そんな' vary' able な product をかんがえよう

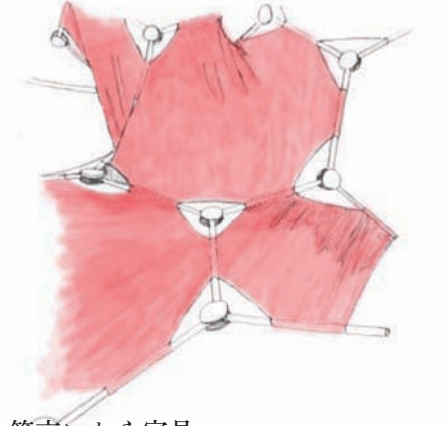
ふれて、もたれる、はなれて、ものをのせる
転がせば異なる表情をあらわす
背もたれだったところが庇になり
庇だったところは脚をつくる
そして中には、膜に包まれた空間が出来る
あるときは interior になり
あるときは exterior にもなり
ぼくたちのさまざまな行為を受け入れてくれる

それがー vary-terior ー

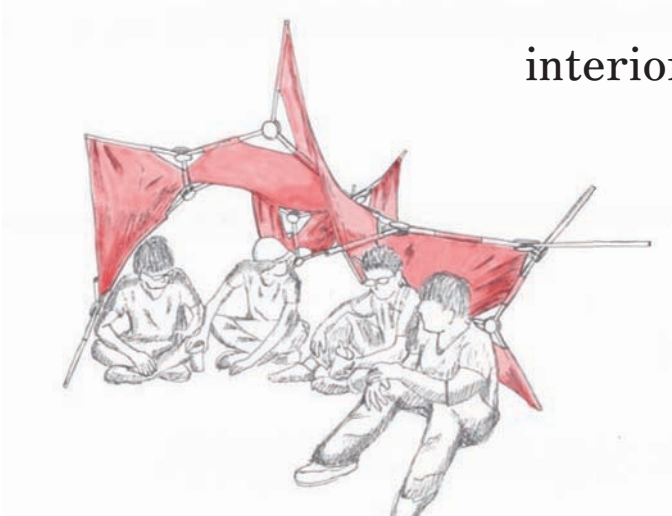


THE 3 POINTS

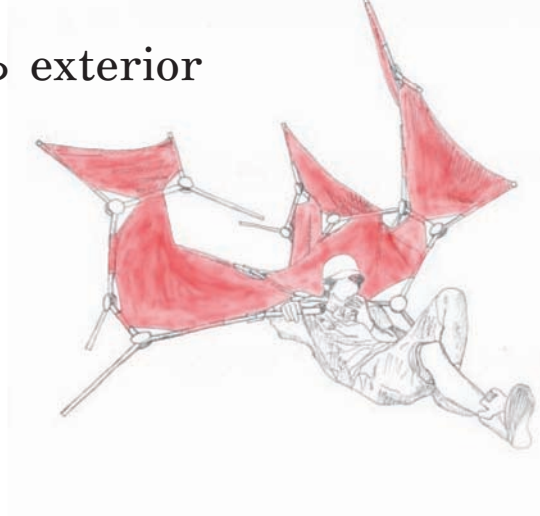
補強材から家具へ



筋交いから家具
捻転し連なるパイプは完結した環状構造をもたない。そのかわり、曲面をもって張った膜はパイプの間を繋ぎ引張力を負担している。また、その膜は躯体の設置状況により形状保持以外の役割を担う。本を置いて棚としたり、寄りかかって背もたれとなったりと家具としての機能も備えている。



interior から exterior



interior exterior うちとそと
簡易的なデスクや背もたれなど、ある種の家具として使用される形態をもつ。しかし、三次元的に回転させることで形態は一転しドーム状の小空間が生まれる。あるときは内向きに囲い、あるときは外向きに開かれる。接地箇所の変更により物体の作り出す空間の方向性は多様に変化できる。



一つの状態から多様な用

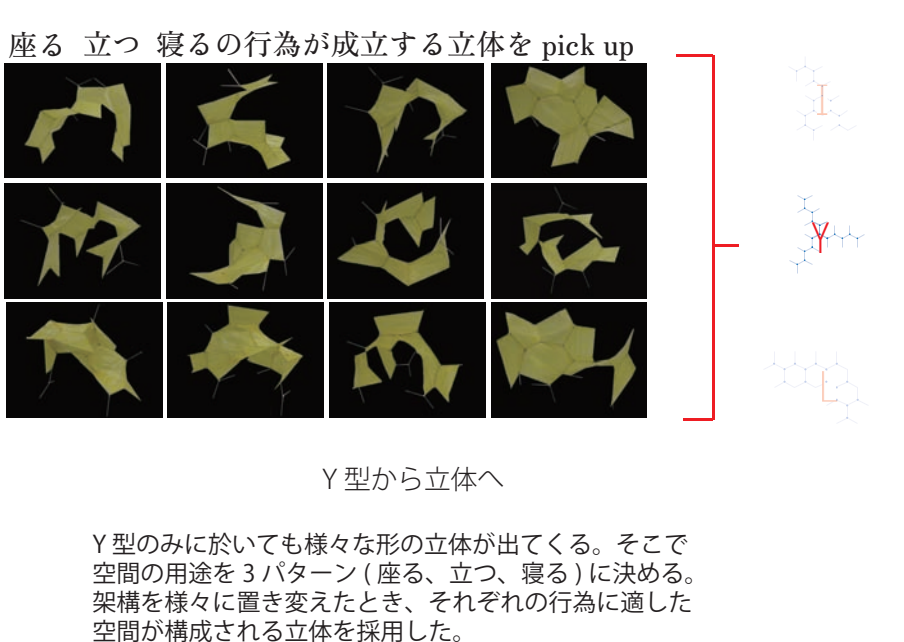
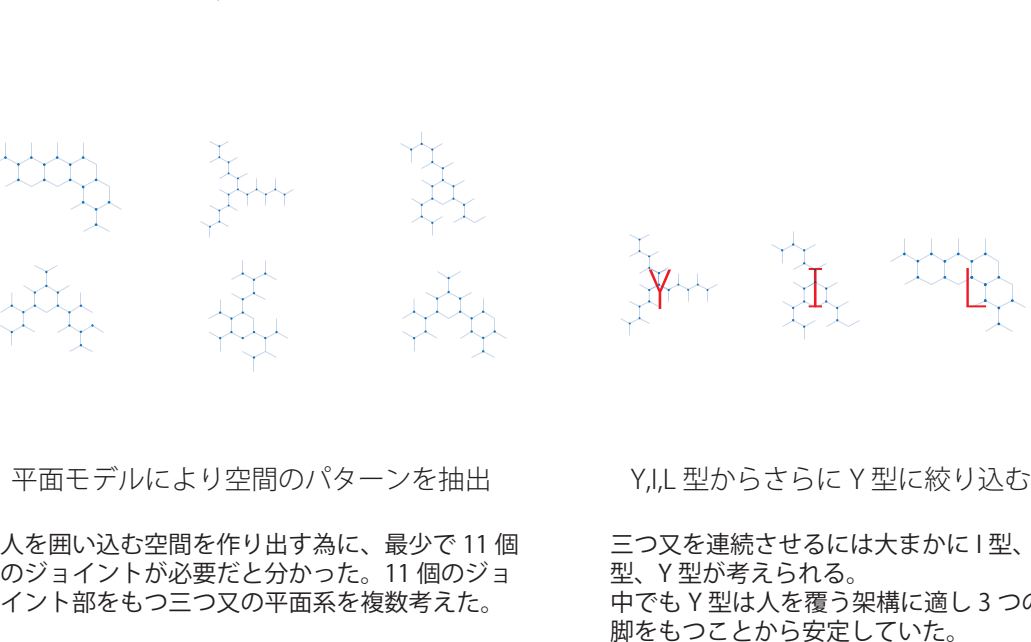
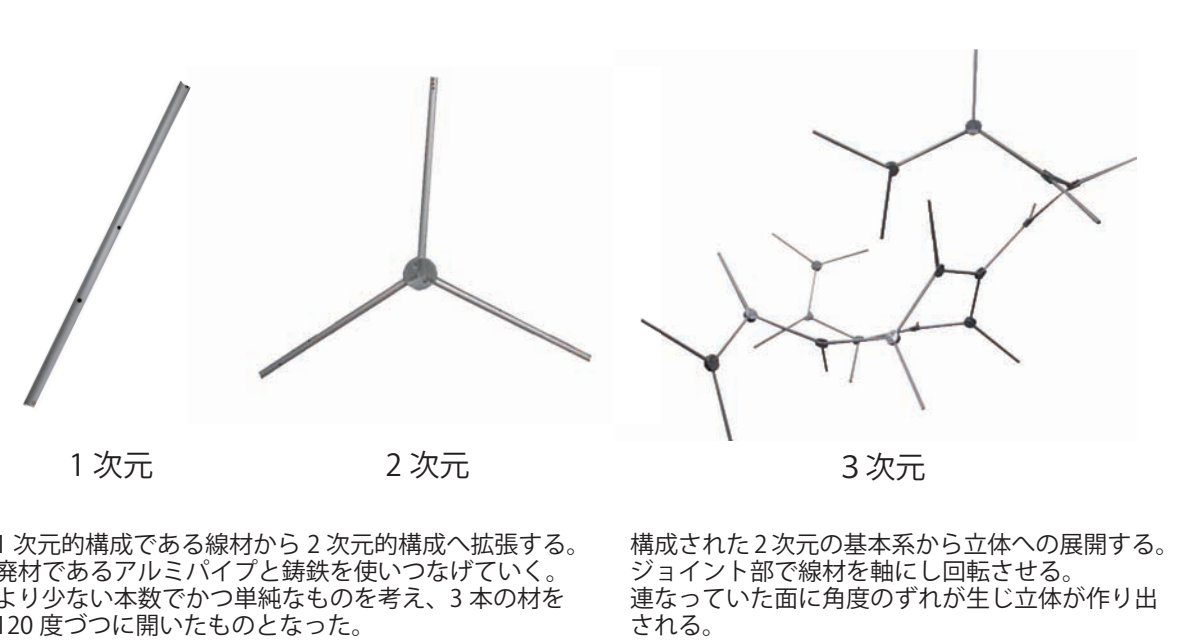
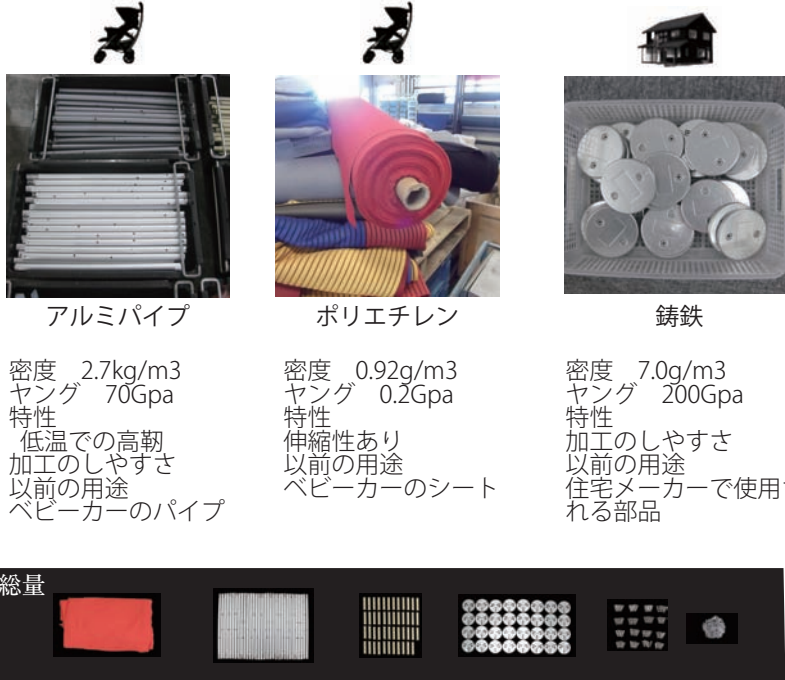


多様な行為を誘発する
外向きに開かれる状態に人は寄りかかることできる。膜にもたれて休憩する人の周りには人が集まる。一人二人と増え彼らはそれぞれの場と方法で物体を共有する。上方を向いて張られる面は作業台にもなり得る。立ち上がった庇の向こう側には潜り込む様な日影の場ができる。物体は同一形態の中でも様々な用途を同時に有している。

be made from

construction

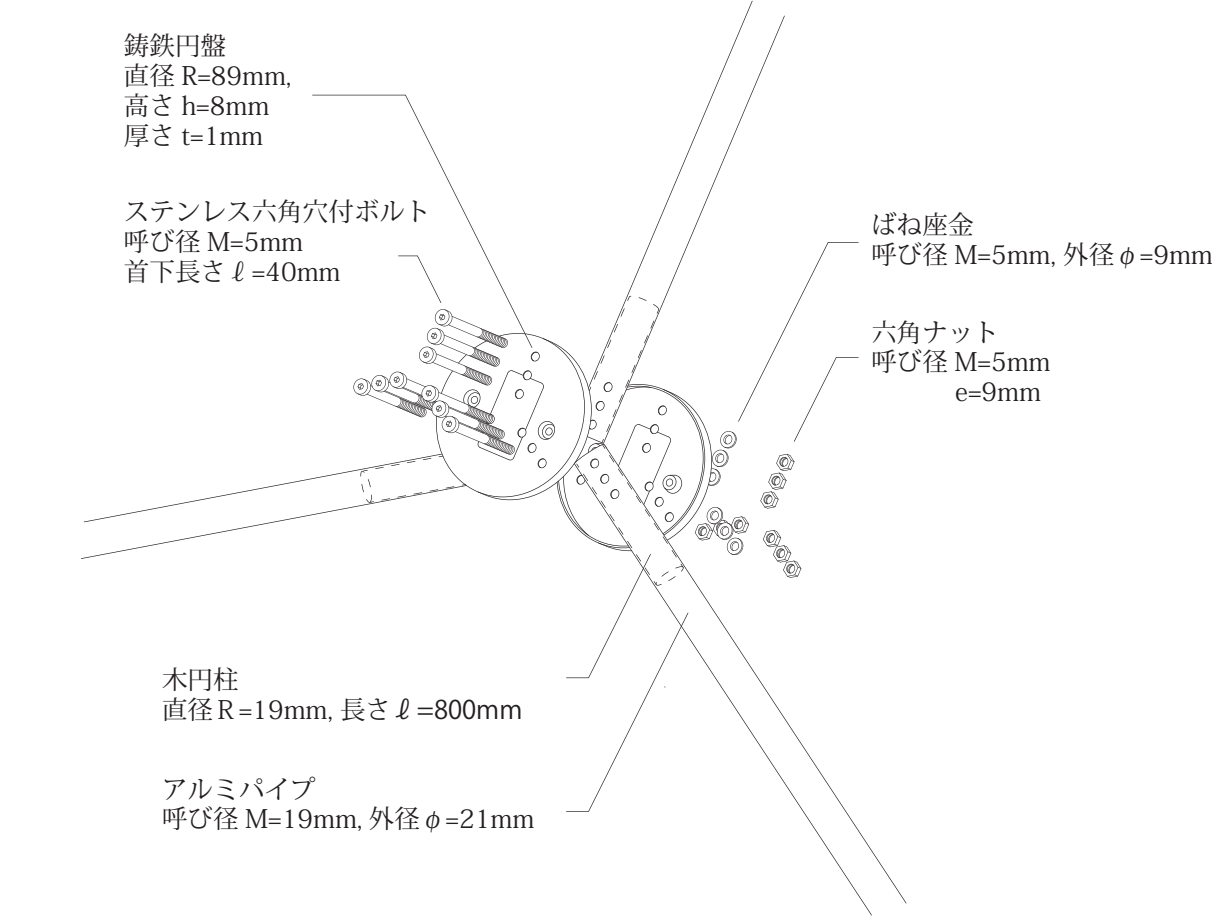
study



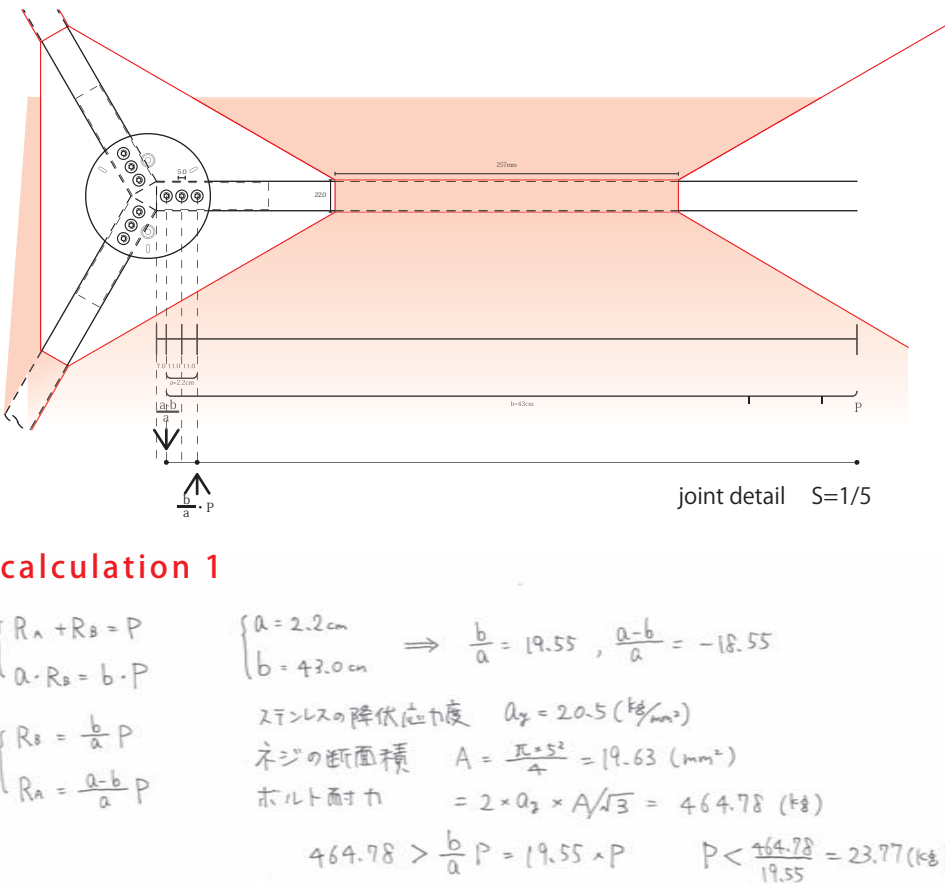
process of production



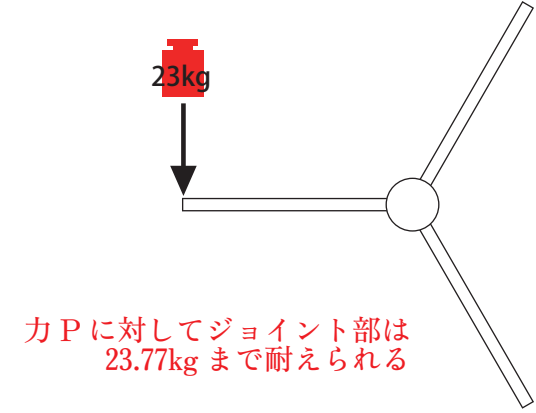
detail



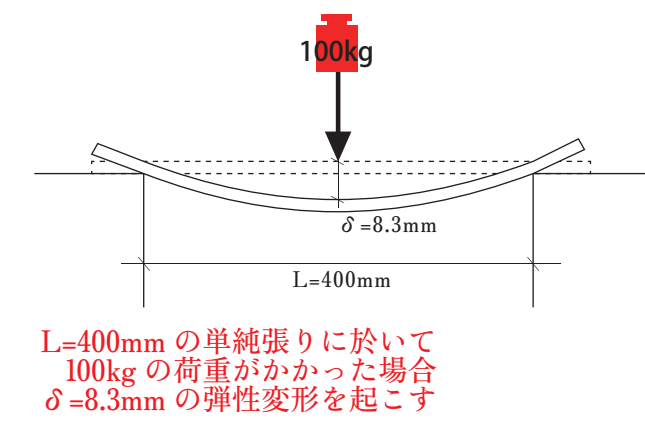
structural calculation



calculation 1 より

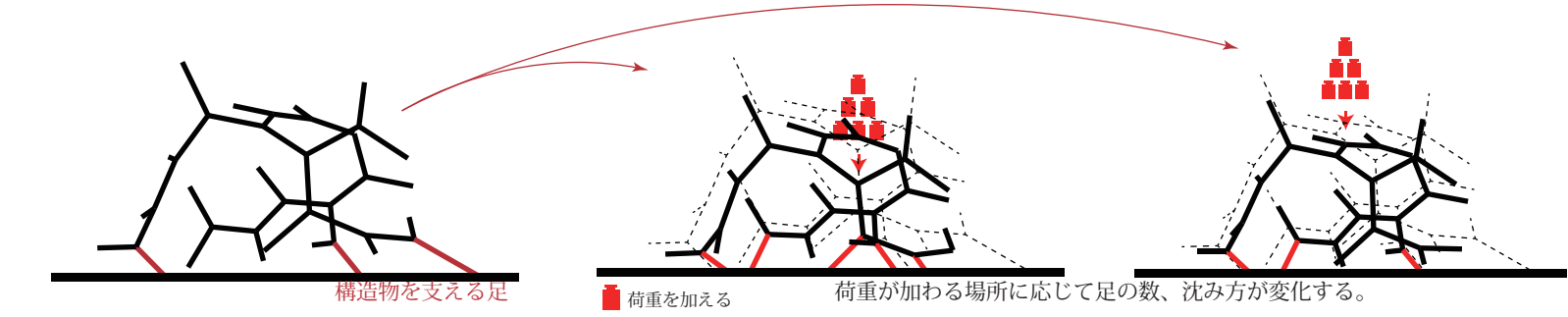


calculation 2 より



dynamic diagram

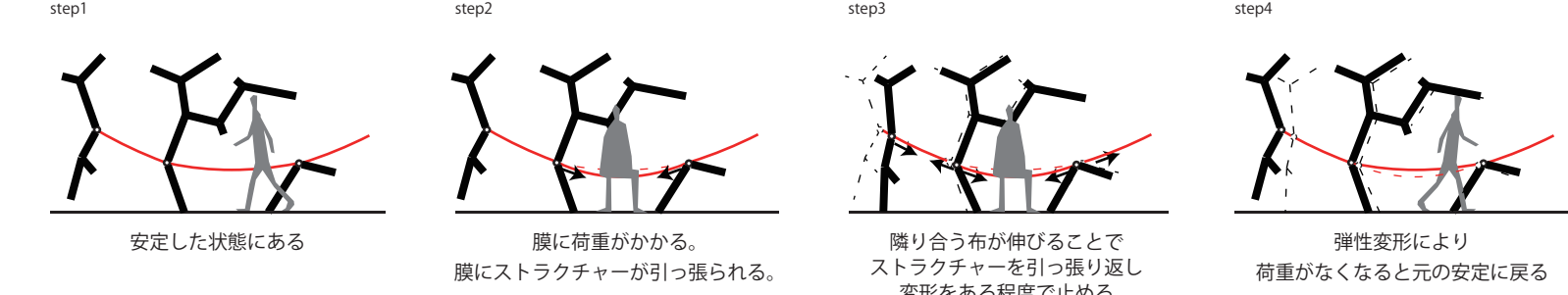
弾性変形による足の数の変化



scene and how to put



荷重による変形とその弾性



section and plan

